

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス きぼう		
○保護者評価実施期間	2025年11月20日 ~ 2026年1月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	2025年11月20日 ~ 2025年12月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 無理な集団活動はほとんど取らないこと 個人個人の過ごし方を支援していく。 次第に職員や他児童との関わりを持つことが出来る機会を増やしていき、人への興味、活動への参加を促していくようにする。 遊びと学習などの活動の切り替えの行う場面を設けて支援していく。 課題学習やその他必要な訓練を遊びと切り替えて行ってもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 多数のおもちゃや遊具を用意(自由に遊べる物と職員に絵カードを見せるなどしてコレで遊びたいという意思を示して渡してもらうおもちゃ、遊具)しています。 およそ200種類の課題を用意しています。(パズル・ピン差し・マッチング・分類・組み立てなど) 個々の能力にさせて、出来ることを伸ばしつつ、わからないことはスモールステップで少しずつわかるように課題を選び、利用時に3~5この課題を行なっています。 職員が指示をしなくてもわかるようにしていくことで、自立的に行なうことで、自尊心が芽生え育っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃの種類や遊具を児童の趣向に合わせて準備していく、また目新しい物を用意し興味を持って取り組んでもらい職員や他の児童との関わりを増やす。 今ある課題に加え、個別的に必要なと思われる支援や課題を増やしていきたいと思えます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 様々な構造化を行ないなるべく児童が自立的・自律的な行動がとれるように支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 物理的構造化 部屋ごとに何をやる部屋か目的を決め、児童が混乱しないようにわかりやすく工夫しています。 視覚的構造化 絵カードやボードを使って、予定を表示して、見通しを持てるように、混乱しないように配慮をしています。職員のコミュニケーションの手段に用いたりもしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も利用児童が混乱しないように、見通しを持って過ごせるように、一層の構造化を進めていきたいと思えます。 構造化していく上で大事な視点として、個別化、そのために必要なアセスメントや情報収集を今後も継続して行っています。
3	<ul style="list-style-type: none"> 調理訓練を行なっています。 	<ul style="list-style-type: none"> オリジナルレシピで、調理の工程など、写真を使い児童にわかりやすい手順書を作成し行なっています。これを基に準備から片付けまで児童一人ひとりが主体で行えるようにしています。個々の能力に応じて、職員がフォローし楽しく活動できるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もメニューを増やしていきたいと考えています。
4	<ul style="list-style-type: none"> 将来の自立のために、社会参加訓練(公共施設等への見学、調理訓練等)を月に一度(第一土曜日)に希望者に行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等へ出かける際も自動車だけでなく、バスや電車などを利用するコース設定を行ったり様々なものを利用するように心がけています。 列にきちんと並んだり、静かにすることなど、社会の中では当然のごとく求められるマナーを実体験として教えていきます。 調理訓練では、わかりやすいレシピを作成し、昼食を買い出しから行ってもらおうようにしています。自分の食べる分は、すべて自分で作ってもらうので、食事を作る苦労や、工程を総体的に学ぶことが出来る機会になるよう配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も様々なところへ様々なことをして学ぶためにいろいろなおとこへ出かけたいと考えています。 ある程度経験したら児童を集めて会合を開き、行きたいところ、学びたい事を自立的に決めてもらって行けるようにしていこうと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員が集まりにくい	・行っている支援に専門性が必要なため、職員に適性が必要。 時間をかけて教育・養成していく必要があります。	・できる限り、職員に毎日30分程度の学習する機会を設けて知識を得られるようにします。 ・行っている支援の内容や事業所の取組みなど、SNSを通して発信することで興味、思いのある方などの求人につながるようにする。
2	・行なっている支援がわかってもらいづらい	・事業所で行っている支援がなぜ必要なのか、なぜこのようなことをするのかを説明しても、わかってもらいづらい。	・実行した支援の報告、見直し保護者に向け、学習する機会を設けたりし、知識を持ってもらう SNSなどで取組み成果を発信していく。